


カタカナ・ひらかなを丸囲みする方法です。  
emath では、○と中の文字を重ね打ちします。

`¥tmaru`  
`¥tmaru{ア}¥tmaru{あ}` → 


`¥maru`, `¥tmaru` どちらでも使えますが、


前者が「引数は」数式モード内に配置

後者が「引数は」テキストモード内に配置


という違いがあります。


一方、`¥emMaruKata`, `¥emMaruHira` は 1~48 の数値をそれぞれカタカナ、ひらかなに翻訳して丸囲みします。

`¥emMaruKata`  
`¥Ifor¥ix{1}{49}¥Do{%`  
`¥emMaruKata¥ix¥hskipOpt¥relax}%` → 

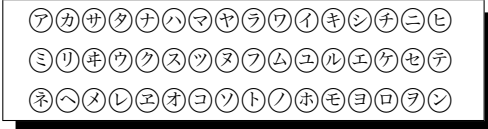
`¥emMaruHira`  
`¥Ifor¥ix{1}{49}¥Do{%`  
`¥emMaruHira¥ix¥hskipOpt¥relax}%` → 


いろは順とするには、

`¥emMaruKataIroha`  
`¥Ifor¥ix{1}{49}¥Do{%`  
`¥emMaruKataIroha¥ix`  
`¥hskipOpt¥relax}%` → 

`¥emMaruHiraIroha`  
`¥Ifor¥ix{1}{49}¥Do{%`  
`¥emMaruHiraIroha¥ix`  
`¥hskipOpt¥relax}%` → 

アカサタナ …… の順です。

`¥emMaruKataAkasa`  
`¥Ifor¥ix{1}{49}¥Do{%`  
`¥emMaruKataAkasa¥ix`  
`¥hskipOpt¥relax}%` → 

`¥emMaruHiraAkasa`  
`¥Ifor¥ix{1}{49}¥Do{%`  
`¥emMaruHiraAkasa¥ix`  
`¥hskipOpt¥relax}%` → 

utf パッケージを用いる方法です。

<pre>— %ajMaruKata — %Ifor%ix{1}{49}%Do{% %ajMaruKata%ix%hskipOpt%relax}%</pre>	→	<pre>アイウエオカキクケコサシスセソタ チツテトナニヌネノハヒフヘホマミ ムメモヤユヨラリルレロワヰヱヴン</pre>
<pre>— %ajMaruHira — %Ifor%ix{1}{49}%Do{% %ajMaruHira%ix%hskipOpt%relax}%</pre>	→	<pre>あいうえおかきくけこさしすせそた ちつてとなにぬねのはひふへほまみ むめもやゆよらりるれろわゐゑをん</pre>
<pre>— %ajMaruKataIroha — %Ifor%ix{1}{49}%Do{% %ajMaruKataIroha%ix %hskipOpt%relax}%</pre>	→	<pre>イロハニホヘトチリヌルヲワカヨタ レソツネナラムウヰノオクヤマケフ コエテアサキユメミンエヒモセスン</pre>
<pre>— %ajMaruHiraIroha — %Ifor%ix{1}{49}%Do{% %ajMaruHiraIroha%ix %hskipOpt%relax}%</pre>	→	<pre>いろはにほへとちりぬるをわかよた れそつねならむうゐのおくやまけふ こえてあさきゆめみしゑひもせすん</pre>
<pre>— %ajMaruKataAkasa — %Ifor%ix{1}{49}%Do{% %ajMaruKataAkasa%ix %hskipOpt%relax}%</pre>	→	<pre>アカサタナハマヤラワイキンチニヒ ミリヰウクスツヌフムユルエケセテ ネヘメレエオコソトノホモヨロラン</pre>
<pre>— %ajMaruHiraAkasa — %Ifor%ix{1}{49}%Do{% %ajMaruHiraAkasa%ix %hskipOpt%relax}%</pre>	→	<pre>あかきたなほまやらわいぎしちにひ みりゐうくすつぬふむゆるえけせて ねへめれゑおこそとのほもよろをん</pre>